

富田小 学校通信

10月21日
校長 蛸原

小学校最後の運動会、「最高の思い出」

先日の運動会では、応援いただきましたご来場の皆様、お手伝いいただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

閉会式では、6年生の赤澤健介さんが、下記の内容のあいさつをしましたので、紹介します。



ぼくたち6年生にとって、最後の運動会がもうすぐ終わろうとしています。

「最後の運動会、大切な思い出にしよう」と、6年生はたくさん工夫をしてきました。

運動会を盛り上げるため、まず、応援の練習から行いました。徒走や表現のエイサーは、少ない練習の中で精一杯行ってきました。なんといっても一番心に残ったのは、「全員リレー」です。1本のバトンをみんなでつなげ、最後までゴールできたことがよかったです。また、一人一人が担当した「役員」は、先生方と一緒に全力でがんばりました。

家庭や地域の皆様、先生方に、これまでの感謝を伝えるには一つ一つのことを全力で行うことだと思い、みんな本気で取り組みました。小学校最後の運動会、最高の思い出ができました。

ぼくたちは半年後、富田小学校を卒業します。これからも、いろんなことを乗り越える6年生として頑張っていきますので、応援よろしくをお願いします。

練習のときよりも順位が下がったけれど精一杯走ってゴールした子。練習にはあまり参加できなかったけれど当日はみんなと一緒に参加して楽しく競技できた子。応援優勝してみんなで喜んでいる団、優勝できなかったけれど、精一杯がんばったことですがすがしい表情をしている子。

午前中の短い時間での開催でしたが、短い時間だからこそ、子どもたちは競技や応援に集中し、喜んだり悔しさが残ったりしながらも「最高の思い出」がくれたのではないかと思います。

行事を通して一歩ずつ成長していく子どもたちに喜びを感じながら、職員一同、今後も取り組んで参ります。保護者の皆様も、富田っ子にエールをよろしくをお願いします。

あいさつの声がいつも以上に響きました

商工会青年部の皆さんとヴィアマテラスの選手の皆さんに、20日(木)の朝、正門付近と西門付近で「あいさつ運動」をしていただきました。富田小の子どもたちも加わり、いつもより元気なあいさつが響いていました。

